



## 内閣府特命担当大臣挨拶

2017年9月5日に開かれた食品安全委員会第664回会合に、食品安全担当大臣の江崎鐵磨（えさき てつま）大臣が出席され、冒頭ご挨拶をいただきました

### 江崎鐵磨 内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）

このたび食品安全担当大臣を拝命いたしました、江崎鐵磨です。食品安全委員会は、平成15年7月に発足し、これまで、約2,400件のリスク評価を終えられていると伺っています。佐藤委員長をはじめ、委員並びに専門委員、関係の皆様方のご努力に心から敬意と感謝の意を表したいと思います。

食品安全委員会が、リスク評価機関として、引き続き、その機能をいかに発揮し、厚生労働省、農林水産省、消費者庁等と連携しつつ、食品の安全性を更に向上させて

いくことを、強く期待しております。

「食品の安全」は、私たち一人ひとりの命に直結する国政の重要なテーマの一つです。私としても、食品の安全性の確保を通じて、国民の皆様安心して暮らしていただけるよう、邁進する決意であることを挨拶の結びの言葉とさせていただきます。

※挨拶は一部を要約・抜粋。全文は会合議事録に掲載されています。



（左より）江崎大臣、佐藤委員長



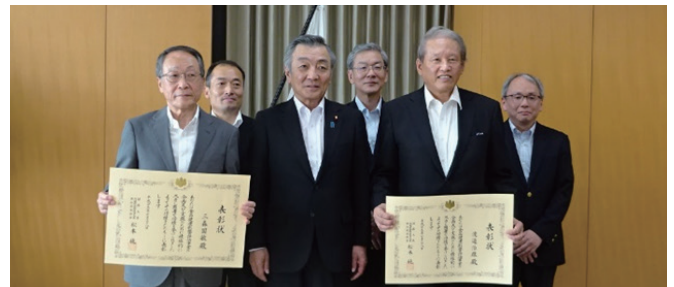
会議資料詳細 第664回食品安全委員会 <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20170905fsc>

## 第1回食品安全担当大臣による表彰制度 受賞者決定

平成29年度食品健康影響評価事業等功労者食品安全担当大臣表彰を行いました

食品の安全に関し、食品健康影響評価事業等の推進に特に顕著な貢献をした方の功績を讃えるため、食品安全担当大臣による表彰制度が設けられました。以下の方々第1回の受賞者として、2017年7月28日に大臣ご出席の下で表彰されました。

- ・小泉直子（兵庫医科大学名誉教授）
- ・三森国敏（東京農工大学名誉教授）
- ・渡邊治雄（国際医療福祉大学大学院教授）



前列：（左より）三森国敏氏、松本純元大臣、渡邊治雄氏  
後列：事務局職員  
[小泉直子氏はご欠席]

## こども霞が関見学デー～「食品と生活の安全について学ぼう！」開催～

小学生と中学生のみなさんに、食品と生活の安全についてゲームやクイズ、すごろく作りに取り組んでいただきました

2017年8月2日・3日、「こども霞が関見学デー」が25府省庁等で行われました。食品安全委員会は消費者庁と連携して、小学生と中学生を対象に「食品と生活の安全について学ぼう！」を8月3日に開催しました。

食品安全委員会のプログラム「ゲームで学ぶノロウイルス感染症予防」は、ノロウイルスとは何か、どうしたら感染を防ぐことができるのかを、ゲームを使って学ぶ企画です。参加してくれた小学生と中学生のみなさんは、ノロウイルスに見立てた「トロトロウイルス」に感染してしまっ

たヒツジを、チームで協力して「検査」をしたり、「消毒」をしたり、「部屋分け」したりして、助けてくれました。保護者の方からは、感染拡大を抑えるためには手洗いや隔離が必要なのことがわかった、子どもが楽しく学べるゲームだったという感想をいただきました。



ゲームで楽しく学ぶ子どもたち

## 第44回日本毒性学会学術年会

### ブース展示を行いました

2017年7月10～12日、横浜で開催された第44回日本毒性学会学術年会に参加し、ブース展示を行いました。

ブースでは、ポスターを使って食品安全委員会の取組を紹介したり、季刊誌を配布したりしました。

また、特別企画として、市民公開セ

ミナー「食と健康を科学する」が7月9日に開催され、佐藤委員長が「食品安全とリスク評価」と題して講演を行いました。

加えて、吉田緑委員（毒性学の分野担当）が、ファイザー賞\*を受賞しました。

### \*ファイザー賞

授賞年度の3年前の1年間に日本毒性学会の機関誌『Journal of Toxicological Sciences』のRegular Issueに掲載された原著論文の中で、授賞年度の前年及び前々年の2年間における被引用回数が多い論文（上位3編）を発表した日本毒性学会会員に授与される。



RISK  
communication

## リスクコミュニケーション

### 精講：食品健康影響評価 ～加熱時に生じるアクリルアミドを題材にして～

#### 化学物質のリスク評価について、詳しく解説する講座を開催しました

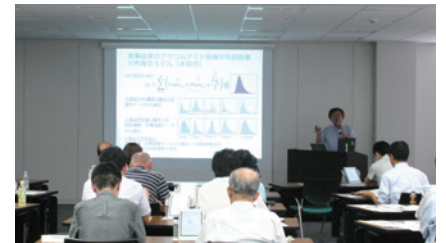
2017年7月31日、アクリルアミドをテーマにした精講を開講しました。精講とは、評価書の内容をより詳しく知りたい方のために開催する中級者向けの講座です。3月に続き、2回目になります。

今回は、食品安全委員会の吉田委員から、実際に評価書と照らし合わせながらアクリルアミドのリスク評価の詳

細な内容について、また、国立環境研究所の青木フェローから、食品由来のアクリルアミド摂取量の推定について、情報提供を行いました。その後、堀口委員のコーディネートの下、約50名の参加者との間で、質問用紙を利用した活発な意見交換が行われました。

終了後のアンケートでは、「評価書の読み方が理解できた」、「スライドも

見やすく、丁寧な説明だった」等の感想をいただきました。



講座の様子



会議資料詳細

<http://www.fsc.go.jp/fscis/meetingMaterial/show/kai20170731ik1>

## 食品に関するリスクコミュニケーション（意見交換会）

### 平成29年度学校教育関係者を対象とした食品安全に関する研修会（「食の安全都民講座」）を開催しました

食品安全委員会では2015年度より、「食品安全に関する正しい知識を子どもたちが習得するためには、学校教育関係者の役割が重要」との認識のもと、学校教育関係者を対象とした研修会を地方公共団体と共催しています。

2017年8月21日には、東京都健康安全研究センターと共催し、東京都の小・中学校の学校栄養職員等43名が参加しました。前半は、食品安全委員会委員による講義と東京都からの情

報提供を実施し、後半は、「食中毒」と「食品添加物」をテーマにグループワーク（「給食だより」で伝えたいこと・わかってもらいたいことをQ&A方式で作成）を実施しました。参加者からは、「専門家の先生からわかりやすく食中毒や食品添加物についての講義を聞くことができてよかった」、「保護者への情報発信にもつなげていきたい」等の感想をいただきました。

今年度はこのほか、大阪府、岡崎市

（愛知）、広島市、兵庫県、熊本県、岡山県等とも共催し、学校教育関係者を対象とした意見交換会を開催します。



グループワークの様子



会議資料詳細

<http://www.fsc.go.jp/fscis/meetingMaterial/show/kai20170821ik1>